

医学食堂に関するWEBアンケート集計結果

2011年9月実施

本アンケートは、医学地区に所属する、全学生、教職員を対象にメーリングリストを通じて案内を行い、2週間の期間内にREASのサイトにアクセスして回答してもらった。正しい表示のために、PCからのアクセスと携帯電話からは、別のサイトを利用して、同じ項目のアンケートを行った。

本アンケートに関して、クロス集計を分析したい、などの希望がある場合は、担当の三輪まで連絡してください。

ymiwa@md.tsukuba.ac.jp TEL:029-853-3799

設問1 あなたの所属は？

		PC	携帯	合計	%
学群生	医学	171	84	255	40
	看護	45	50	95	15
	医療	20	28	48	7
大学院生	修士	27	3	30	5
	博士	61	0	61	9
教員		58	0	58	9
職員		83	2	85	13
その他		11	0	11	2
合計	合計	476	167	643	

携帯電話用のサイトからは、主に学群生が、PC用サイトからは、あらゆる所属メンバーからの回答が見られた。

<補足説明>

学群生は、多くの者が時間割にしたがって行動するため昼食は、11:25～12:15の間にとる。

職員については、常勤職員は12:15～13:15であるが、非常勤職員や病院職員については、やや幅がある。基本的には12時～13時頃が多い。

大学院生と教員は比較的自由度が高いため、かならずしも特定の時間帯に集中するわけではない。

設問2 医学食堂(1階)が改善された場合、昼食にどのくらいの頻度で利用しますか？

設問3 開店してほしい昼食時間をすべて選択してください。

設問4 昼食の希望価格を一つ選んでください。

<昼食について>					
設問2		PC	携帯	合計	%
	ほぼ毎日	111	49	160	25
	週に2~3	175	80	255	40
	週1回	66	17	83	13
	月に数回	61	9	70	11
	利用しない	62	12	74	12
		475	167	642	100
設問3	時間帯	PC	携帯	合計	%
	~11	95	53	148	7
	11-12	419	161	580	28
	12-13	442	160	602	29
	13-14	394	122	516	24
	14-15	210	55	265	13
	15-	112	32	144	7
		1577	530	2107	100
設問4	価格	PC	携帯	合計	%
	-300	40	19	59	9
	300-400	204	90	294	46
	400-500	184	49	233	36
	500-600	39	6	45	7
	600-700	4	1	5	1
	700-	2	1	3	0
		473	166	639	100

<分析、補足>

携帯電話での回答者はかなりの利用率が見込めることから、学群生は、昼食の利用度が高いことがうかがえる。実際、昼食にあまり時間をかけられないので、他に食べに行くのは難しいという事情もある。学群生は医学類の4、5年生以外は、休業期間中は帰省や旅行などにより不在になりやすい層である。

PCから入力しているうちで、特に利用頻度が低そうなのは、教職員であると予想される。したがって、この層を顧客として獲得するためには、あえて普段持参している弁当などをやめてでも食べに行こうと思わせる特別メニューの必要性がある。大学院生と教職員は基本的に夏休み等もほとんど関係なく活動するので、休業期間中も来店が見込める。したがって、休業期間中はこの層をターゲットに変更し、通常とはやや異なるメニューにするなどの工夫が必要と考えられる。

昼食は、非常に利用者も多く重要。とくに短い昼休みの時間帯に集中するため、短時間での配膳を可能にする工夫が必要。

設問5 夕食の営業がはじまった場合、どのくらいの頻度で利用しますか？

設問6 開店してほしい夕食時間をすべて選択してください。

設問7 夕食の希望価格を一つ選んでください。

<夕食について>					
設問5		PC	携帯	合計	%
	ほぼ毎日	21	3	24	4
	週に2~3	93	36	129	20
	週1回	79	44	123	19
	月に数回	106	43	149	23
	利用しない	176	41	217	34
		475	167	642	
設問6 時間帯					
	~17	60	20	80	5
	17-18	212	93	305	20
	18-19	335	143	478	32
	19-20	309	120	429	28
	20-	161	58	219	14
		1077	434	1511	
設問7 価格					
	-300	12	9	21	4
	300-400	85	36	121	20
	400-500	156	66	222	37
	500-600	135	36	171	29
	600-700	33	15	48	8
	700-	11	5	16	3
		432	167	599	

<分析、補足>

夕食についてはほぼ毎日利用という回答が一気に少なくなる。だが、近いという利点は間違いなくあるので、味、値段などで学外の店舗と競合に値する満足度が与えられれば、十分に来客の可能性はある。昼食以上に、何らかの工夫が必要。

教職員は基本的にほとんど利用しないと考えられるので、夕食では大学院学生の取り込みが特に重要。

夕食は、昼食に比べてやや高めの値段になってもよいので、しっかり食べたい、という希望が見られる。それに十分応えるメニューの工夫が望まれる。

夕食は、昼食に比べると利用者数の見込みは少ないが、一つには終了時間が早いこと、もう一つにはメニューが夕食らしくなかった、などの理由で、ニーズをまったく捉えられていなかった。逆にこの2点を工夫することで、集客は見込めると考えられる。

設問8 朝食の営業がはじまった場合、あなたはどのくらいの頻度で利用しますか？

設問9 開店してほしい朝食時間をすべて選択してください。

設問10 朝食の希望価格を一つ選んでください。

		＜朝食について＞			
設問8		PC	携帯	合計	
	ほぼ毎日	13	6	19	3
	週に2～3	49	22	71	11
	週1回	48	21	69	11
	月に数回	88	41	129	20
	利用しない	275	77	352	55
		473	167	640	100
設問9	時間帯				
	～7	94	41	135	10
	7～7:30	205	88	293	22
	7:30～8	273	118	391	29
	8～8:30	255	95	350	26
	8:30～9	145	43	188	14
	9～	77	27	104	8
		955	371	1326	100
設問10					
	-300	160	66	226	40
	300-400	194	76	270	47
	400-500	49	16	65	11
	500-600	7	1	8	1
	600-700	1	1	2	0
	700-	0	0	0	0
		411	160	571	100

＜分析、補足＞

朝食については、明らかに利用者数が少なくなるので、今回の募集の条件には加えていない。しかし、もしもノウハウをもっていて魅力的なメニューを提供できる企業には、検討してもらえるとよい。

設問11 医学食堂を利用するかどうかを判断する要素はどれですか(2つ回答)

味	378	139	517	58
価格	317	119	436	49
量	52	20	72	8
メニュー	212	57	269	30
サービス	17	6	23	3
開店時間	61	11	72	8
その他	17	0	17	2
	676	213	889	100

設問12 食堂に特に要望したいことは何ですか(複数可)。

味をよく	383	144	527	31
メニュー	251	77	328	19
野菜多	210	75	285	17
値段安	262	118	380	23
量を多	84	35	119	7
その他	43	6	49	3
	1233	455	1688	100

<分析、補足>

味がよければ利用する、という意見が圧倒的である。

次いで値段が安いことも重要。

また昔のような「質より量」という古い感覚は誤りであることもわかる。現在では、量さえ多く安ければ何でもいい、というようなことはあまりない。むしろコストパフォーマンスがよければ値段そのものは、かならずしも安ければいいという訳でもないようだ。また、野菜を多くとりたいなど、健康志向であることも見て取れる。「メニューに変化が欲しい」という希望は、裏を返せば、近くて便利なので、本来ならばかなりの頻度で利用したい、という希望があると予想される。連日利用するのに、変化に乏しいメニューでは飽きてしまうので、結局他に行かざるを得なくなる、ということである。

自由記述(抜粋)

- 食堂自体は数年前にリニューアルしてきれいになったので、今後はメニューの工夫をしてもらいたい。値段もうまく切り詰めて安くおいしいメニューをお願いしたい。
- カフェのような感じにしてほしい。大学中央や体芸の粉とクリームのような。
- 食堂に関してはスピード、味、など改善して欲しい。例えば海外のフードコートにあるような、ご飯とおかずを何品か選ぶ方式はとれないでしょうか？おかずの品数によって値段が変わり、選べるおかずの種類が10品程度あって、そのなかから選ぶという様な方式です。それであれば、スピード、味は担保されると思うのですが。麺類は作業の時間と人が割かなくてはならず、不効率となる原因だと思うので、いっそ無くしてしまってもよいのではないのでしょうか？
- 医学内にコンビニは必要だと思う。現在病院の売店を利用する学生が多いが、患者さんのご迷惑になってしまった状況を目にした。大手のコンビニを入れれば、相乗効果で看護学生や医療科学の学生ももっと食堂を利用するのではないかと？体育専門学類のように、『粉とクリーム』を医学にも出店してほしい。またはパンだけでも販売に来てほしい。
- 一般的に値段が高い。学内周辺の飲食店の方がコスパがいい(量、味、値段すべてにおいて)食堂、リーベン、売店共にメニューが少なく、年間通してだと飽きる(毎日通っていてもそう思う) 手軽なコンビニ等を置いた方がいいとおもう。
- 医学食堂は全学に比べ味値段共に劣ります。定食の値段も500円もするのに明らかに内容に見合っていないです。何十食も多い時は100食以上販売しているのに赤字なのは本社への上納金が多すぎるのではと予想される。学生食堂なのに儲けを出そうとしているのが見え見え。
- 第1エリアの喫茶・食堂がメニューもサービスもよかったです。軽食のテイクアウトができるといいと思います。
- 売店の弁当やパン類で売れ残るのはいつも同じなのに、いつまでたっても同じものを同量仕入れている。売れるものを多めに入れるようにしてほしい。
- 食堂でも持ち帰り可能な容器に入れて売ればいいのか？
- 味、価格、メニューによって朝昼晩の食堂の利用率が変わると思うので、がんばって欲しい。(近くて便利な場所にあるのに、現状では行く気にならない)
- food courtのような感じがいい。改善されて、行きたい雰囲気になれば行く頻度は記載よりもあがる可能性大。
- 塩分なども表示してほしい。今の食堂はしょっぱすぎる。
- コンビニを入れてほしい。最近のコンビニは物販だけでなく、公共料金の支払い、宅配便の取次ぎ、各種チケットの発行、銀行ATMサービスなども行っている。学生や教職員を含めた、全ての利用者の需要があると考え。私学では学内のコンビニはもはや当然のことである。東大などは、独立行政法人化以降、学内にローソンを入れて、今では4店舗もある。本学でもぜひ導入してほしい。
- マックなどのファストフードが公募先にあってもいいと思う。
- 焼きたてパン屋が欲しい。クーロンヌ等。
- 味のクオリティーを上げ、かつ値段も安くして欲しい。
また、二学食堂のように、おかずが自由に選べる形式にして欲しい。
- 焼きたてパンのクーロンヌのような店があればうれしい。麺類を充実させて欲しい。
今の食堂は味も雰囲気もよくない。
- 値段をもっとリーズナブルにしてほしい
- 学生食堂ではないせいか、学生が頻りに利用するには高いと思う。安くしてほしい。14時過ぎでも食べられるようなところを作ってほしい。売店は品ぞろえが悪いので、もっと取り扱う品目を増やしてほしい。パーみたいに軽くお酒が飲めるところを作ってほしい。今までと同じように食堂を入れるのではなく、モスバーガーとかの店を何店舗か入れたほうがいいと思う。営業時間は10:00~23:00くらいとか。

○量が少なく、おいしくもないのに、値段がまったく安くない。いいところが思いつかない。

病院や教室に近いという立地だけで寡占状態なので、企業努力しなくても、一定数の客が訪れるという、消費者にとっては悪循環。昼食の時間いつも憂鬱になる。食事が全く楽しみでない。だからと言って限られた休憩時間ではほかに選択肢もない。普通のセブンイレブンやローソンのようなコンビニが一つあるだけで、リーベンや学食の存在価値はなくなると思う。コンビニ弁当より高いのに美味しくない。量も多くない。学食や喫茶売店に行く理由がない。リーベンの店員の慣れ合いの接客態度も不快。フレンドリーであることと不遜であることをはき違えている。このままだったら絶対行くことはないので学食が消滅しても日々の生活に何も支障をきたさない。危機感がなさすぎる。学食での食事が毎日楽しみになったら、日々の大学生生活、勉強、研究にもやる気がでて、筑波大学の医学地区にもっと活気が出ると思う。でも筑波大学の学食であまりいい学食がないので、茨城県内の企業で公募したところで大した改善は期待できないと半分あきらめの気持ちがある。

○カレーに5円玉が入っていたり、味噌汁にアブラムシが入っていたことがあったので、衛生面に気を付けてほしい。味をもっとおいしく、安くしてほしい。

○リーベンも医学食堂もスタッフが高齢化してきていて盛りつけ、価格、量などが陳腐になってきています。若返りを図るために業者をかえるのがよいでしょう。

○焼きたてのパンのお店があれば毎日でも利用したいです。

○サブウェイを入れてほしい。(サンドウィッチ屋) ・もっと美味しいパンをおいてほしい。

・今、附属病院に入っているコンビニは弁当やパンが高くてまずいです。

○もっと味の変化をつけて欲しい。

○他学に入っている粉&クリームがはいるといいと思う。

○第3学群のようなフードコート形式

○売店は高い割にはあまり食べたいと思うものがありません。並べ方もあまりきれいじゃないです。余程コンビニのお弁当のほうがおいしそう。ただ、他に買うところがないからそこで買うしかないというところ。す。

食堂も3学のようにラーメン・カレー・パスタなどお店が分かれていてたくさんある中から選べるのが理想です。特に粉クリのパンはおいしいし、忙しいときでも簡単に食べられるからいいと思います。絶対に利用する人数が違うから3学のようにないかないかとは思いますが、食堂も選べるメニューが少ないし、ワクワク感が全くありません。あと飲み物の自販機なども圧倒的に種類が少ないような気がします。

○今の状態では、今後も利用しないと思います。

メニューを変更してほしいです。質より量の時代ではないと思います。

○レストランの雰囲気がある食堂がほしい。

○食堂、喫茶ともに大学内でも最低の質。競争無き環境では改善は見込めないで、価格以外の面も含めて定期的に入札などで他業者と競わせるべき。

○医学食堂がひどすぎる。業務改善する意志と努力を感じず、味付けのバリエーションが圧倒的に乏しい。小中学校の給食の方がまだまし。価格に見合った量・質への改善を強く希望する。

○食堂に希望ですが、午後からの仕事が楽しくなるような昼食を提供してほしい。

○学食とは別に、お客様などを連れて行けるレストランがあったら良いと思う。筑波ハムなど地元でも評判のよいお店に学内出店してもらいたい。

○医学食堂は味、価格ともに悪く年に1回ぐらしか利用していませんでした。

新しくリニューアルするならば、リーベンとはとは全く異なるメニューや雰囲気だといいかもしれないと思います。期待しています。

○魚が生臭いことが多い

○食堂、喫茶、売店はいらないので、コンビニを入れてほしい。

病院売店の店員の対応が悪いし、やる気はないし桐仁会をなくしてほしい。

○営業時間を、朝早くからスタートして昼の休憩時間をなくしてほしい。できる限り夜遅くまで営業してほしい

- メニューの充実(ヘルシー路線で)
- 職員が利用することも考えて、少量メニューや漬物を充実させてほしい。
- 現在の食堂メニューは野菜系小鉢の種類が多くなかなか気に入っています。
- ファミレスと提携するなど出来ませんか。
- 病院食堂もそうだけど、不味くはないけど美味しくもない。
- 医学食堂の業者は今のものから変更するべきだと思う。
- すずやのパン屋さん大好きです。
- 売店はいつも急かされているようで気分が悪い。パン類のコストパフォーマンスも最悪。
- 病院の売店が高い。狭い。ローソンなどコンビニを誘致したほうが開店時間も長くなり、安いもの、ヒット商品なども手に入り、利用しやすくなる。喫茶コーナーも朝はモーニングセット、お昼を食べそこなったときのために夕方パスタか麺類などを軽く食べられるとうれしい。
- もっとおいしくしてほしい。粉クリがあるといい。
- バラエティに富んだメニューから選べるようにして頂きたいです。
- 食堂・リーベンがいつもやってなくてもいいから、それらが閉まっている時間にコンビニがあると便利だし利用したい。
- 値段をとにかく下げてほしい。ランチタイムや夕食タイムのピーク以外にも利用したいと思う事が多々あるので、3学の食堂やフードコートのように、いつでも気軽に利用できる環境を整えてほしい。
- 質を高め、一般の方も多く入店できるようにして「外貨」を稼ぐ一方、学生や職員には3割程度安価に提供できるようになると良いと思います(概ね、一食750円と500円)。可能なら有料駐車場(食堂で一定額以上の利用があれば1時間まで無料)の敷設なども。
- 持ち帰って食べられるものがパンのみなので、コンビニがあると助かります。(売店がないので病院まで行きますが、お昼の時間帯はとでも込んでいて時間がかかりお昼休みの半分の時間が終わってしまうため)また、飲食のためだけではなく、それ以外のものも急に必要な場合はコンビニがあると助かります。
- 小さな店舗でラーメン、どんぶり屋(すきやなど)、ハンバーガー(マクドナルド)など3~4の店舗が入っていると嬉しい。
- 食堂というより外部のチェーン店(マクドナルドなど)を入れて欲しいです無理なら粉クリなどでもいいです
- タニタの食堂のように栄養管理がしてある食事を提供してほしい。
- とにかく味をよくしてもらいたい。
- もう少し融通を利かせてほしい。時間帯をもう少し融通きかせれば、病院客のバスと病院の間で立地がよいので近所の人や病院客など引き込めて利益が増えるのではないかと思う。ほとんどピークの時間帯しか営業していないので、外部の間は利用しづらいのではないだろうか。昼間は外部の人向けに安いカフェにしてみるなど(コーヒーが200円ぐらいとか。味なんてそこそこでよい。場所がほしいだけ)。あと夜ごはんを食べるのがすとめんどくさいのでコンビニが欲しい。医学食堂前のアイスの自販機はいらぬからパンとかカロリーメイトの自販機をおいてほしい。アイスなんてこの年頃の人間に大して需要がないと思うのですが。
- 品揃えが豊富で、入りやすい雰囲気を作って欲しい
- 医学には郵便局もありません。病院の売店の機能は限られています。コンビニがあれば、学生や教職員だけではなく、患者さんや来訪者にとっても医学での生活が便利になります。
- 医学食堂を思い切ってバイキング方式にしてみてもどうか
- 安くておいしいが基本です。日替わりメニューなどを増やしてもらい、PCやケータイで確認できると嬉しい。
- 病院内の売店は接客態度が悪く、食材も同じものばかり、営業時間も短いため、コンビニエンスストアに入れ替えを希望する。
- 衛生面に気をつけて欲しい。
- 作業していて(調理等)、そのまま手を洗わず盛りつけを素手でいった時は、嫌悪感を感じた。以前は盛りつけの時は、ディスポの手袋をしていたが・・・
- 時間帯の改善。カフェ的なものがほしいです。

<アンケート総括>

一方的にわがままな意見もなくはないが、概して「食」に関する関心が高まっており、それに応えることができる業者が求められていることがうかがえる。

また、これまでは全学的に「学生が来てくれない」という業者側からの苦情があったが、このアンケートを見る限り、きちんとニーズを把握しそれに応える工夫をすれば、十分に経営が成り立つ可能性はあると考えられる。値段も高めで、味にもメニューにも変化がなく、衛生的に疑問を感じさせていけば、客が入らないのは当たり前であろう。事実、平成22年度の医学食堂の店長は、かなりニーズに沿った改善をおこなっていたため、曜日によって昼食に200人を越える日もあったり、集客力はかつてないほどに改善していた。ただ、その時点でも医学側との間で広報体制がなかったため、利用者が一部に留まっていた。今回は事前にそうした体制も整えることにしている。これを活かすためには、定期的な新メニューの投入や、季節ものの期間限定メニューなどで話題性と多様性を演出して欲しい。

世の中の不景気を反映して、値段を抑えて欲しい要求もかなりの割合で含まれる。しかしかならずしも全員がそうではなく、多少高めでコストパフォーマンスがよいお得感のあるメニューであることを期待する声も、同時に存在する。こうした幅広いニーズそれぞれにうまく対応できる工夫が欲しい。

夏休み等の休業期間中は確かに学群生が減るが、教職員や大学院学生は通常通りに生活しているので、そういった期間にはターゲットを変更し、特別なメニューを出すなどの柔軟な対応力のある企業、圧倒的に近い利点を活かし、周辺の店と競合しても十分にやっていける能力とノウハウを備えた企業をお願いしたい。